



赤ちゃんの体重測定を行う保健ボランティア。定期的に測ることで栄養状態を正しく確認することができる

身近にない 保健医療サービス

衝撃的な結果が出た。
2歳未満の3人に1人が栄養不良。
2011年、カンボジア南部プレイベン州の79カ村で行われた健康診断で突きつけられた現実だ。

「うちの村のあの子ども、この子どもも...」
集まった村人たちが、一人一人の顔を思い浮かべながら、配られた診断表を見つめている。そして、村の地図を広げ、一枚一枚シールを貼っていく。すると、栄養不良の子どもがどこにどれほどいるのか一目瞭然に。なんとかしなればならない。そこに居合わせた誰もが、そう強く思った。

「栄養が不足していると、体や脳の発育に遅れが出るだけでなく、免疫力が



国際協力の担い手たち

認定NPO法人

シェア=国際保健協力市民の会

子どもの健やかな成長を願って

栄養不良の子どもが多いカンボジア。
認定NPO法人シェア=国際保健協力市民の会は、
定期健診を通じた子どもたちの栄養改善に取り組んでいる。



村人たちがどんな食材を使っているのか調査。これを基に栄養改善のための料理教室を開く

となる建物がない。医療機器や医薬品がそろっていない保健スタッフの自宅で、不定期に診療するのがやっとだった。

これでは住民たちは、いざという時に保健医療サービスにアクセスできない。「子どもが病気になるまで誰にも相談できず、近くの売店で効能も分からない薬を買っていたそうです。どうしても治らない時は、高い交通費を払って遠くの都会の病院に行かざるをえませんでした」と虎頭さんは話す。

そこでシェアが目をつけたのが定期健診。各村を保健スタッフが月1回ほど巡回し、空き地などで出張保健所を開いていたが、これまでは特定の病気を予防するワクチン接種が中心。風邪や下痢、栄養不良などの症状には対処できずにいた。

そこでシェアは、この定期健診の内容を強化することに。子どもたちを診察し、病気が子がいればその場で治療。さらに、手洗いの方法や栄養バランスのとれた食事についてなど、健康に役立つ知識の普及にも取り組むことにした。

定期健診で 子どもの健康が改善

「体重を測ったら、成長経過をカードに記録してください」

「病気の予防には手洗いが欠かせません」

「食事にはできるだけ野菜を取り入れ

るようにしましょう」
定期健診の事前研修のひとつ。周辺の村から集まったボランティアの村人たちが、体重の測り方や健康についての知識を学ぶ。定期健診の対象は広域にわたるため、保健スタッフだけではとても人手が足りない。そこで各村にいる保健ボランティアも巻き込むことにしたのだ。

ボランティアへの事前研修を担当しているのは、現地の保健スタッフたちだ。「定期健診はシェアがいなくなっても継続できるよう、彼ら自身の手で行われるべき。計画から実行まですべてこなせる

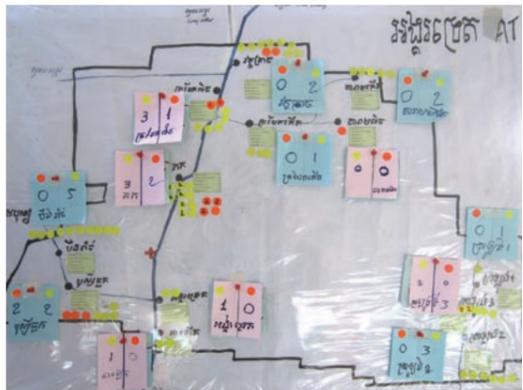
ように支えるのが私の仕事です」と虎頭さん。

彼女がそう話すのには理由がある。今から12年前、青年海外協力隊として、ホンジュラスで病気の予防の啓発活動に取り組んでいた虎頭さん。最初はすべてを自分だけでやろうとしてしまいい、そのうち、活動に限界を感じるようになった。そんな時に出会ったのが、JICA A専門家として派遣されていたシェアのスタッフだった。「ホンジュラスの人たちが自らの手で病気を予防できるようサポートしていました。そうすれば支援の成果が現地に残ると。当時の私にとっては目からうろこで、

それから活動スタイルが変わりました。ここでの出会いが縁となってシェアの一員となり、今は裏方として、カンボジアの人たちを支えている。

定期健診の数をこなすうちに、保健スタッフもボランティアも自信を付け、「子どもの健康は自分たちで守るんだ」という強い意志が感じられるようになった。母親たちも家での食事に気を使うようになり、栄養状態が良くなってきたようだ。

子どもたちが健やかに育ち、村が活気づく。そんな明るい未来が、すぐそこに見えてきた。



村の地図に栄養不良の子どもの数をシールで示し、現状を把握する

落ちてしまいます。風邪や下痢などの軽い病気が命取りになることもあります。そう話すのは、この健康診断を企画した認定NPO法人シェア=国際保健協力市民の会の虎頭恭子看護師だ。
今年で設立30周年を迎えるシェアは保健分野に特化した国際協力NGO。日本、東南アジア、アフリカの各地にスタッフが足を運び、災害後の緊急医療や母子の健康改善などを支援してきた。カンボジアでは1988年から母子保健分野での活動を始め、現在はJICA草の根技術協力事業を通じて、プレイベン州の79カ村で活動している。
この地域には看護師や助産師などの保健スタッフが15カ村ごとに5人ほど配置され、各村の診療に当たっている。しかし困ったことに、彼らの活動拠点



「リンパ腺が腫れていないか確認してくださいね」。結核の診断方法を教える虎頭さん(右)。研修で学んだことを実践できるか、何回も現場で確認する

